

■特別プログラム

■*25周年記念行事* 特別講演 10月25日(日) 10:20~11:20 第1会場

座長：宇藤 裕子 (地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪府立母子保健総合医療センター)

日本新生児看護学会の歩みと展望

日本新生児看護学会名誉理事／広島大学名誉教授 横尾 京子

■教育講演1

10月24日(土) 10:30~11:30 第1会場

座長：村木ゆかり (聖隸浜松病院)

ILCORのConsensus2015に基づくNCPRガイドライン2015

ILCOR新生児部会 Task force CoSTR2015 writing author

日本蘇生協議会ガイドライン2015新生児部門監修編集者

新生児蘇生法普及事業 ILCOR 担当小委員会委員長 田村 正徳

■教育講演2

10月24日(土) 14:45~15:45 第1会場

座長：長内佐斗子 (日本赤十字社医療センター)

子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)から見えてくるもの —宮城ユニットセンターの取り組み—

東北大学大学院医学系研究科 情報遺伝学分野 有馬 隆博

■会長講演

10月24日(土) 9:30~10:15 第1会場

座長：吉村 圭子 (熊本市民病院)

安全・安心な看護ケアを提供する環境をHugくむ^(はぐ)

日本赤十字社医療センター 長内佐斗子

■合同シンポジウム

10月24日(土) 16:00~18:00 第1会場

特別プログラム

「赤ちゃんの不思議を探る」

座長：渡辺とよ子 (都立墨東病院 新生児科)
下田あい子 (群馬県立小児医療センター)

JSY-1 赤ちゃんの人見知り行動

同志社大学 赤ちゃん学研究センター 松田 佳尚

JSY-2 発達科学における新しい乳幼児観

上越教育大学大学院学校教育研究科 森口 佑介

JSY-3 胎児期・新生児期の母子間コミュニケーション

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 神経機能学 篠原 一之

一般プログラム
特別講演・教育講演・会長講演

合同シンポジウム

シンポジウム

ワークショップ

新生児集中ケア認定
看護師認定会議会

一般演題(口演)
第一回

一般演題(口演)
第二回

一般演題(示説)
第一回

一般演題(示説)
第二回

■シンポジウム

10月25日(日) 9:00~10:10 第1会場

子どもが退院するまでNICU/GCU看護師として 何を大切にしていくべきか

座長：長田 晴子 (公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター)

SY-1 NICUにおいて「子どもを見る目を育む」看護

日本赤十字社医療センター 間所 利恵

SY-2 小児病棟の看護師が考えるNICU/GCU看護師の役割

東邦大学医療センター大森病院 竹田 佳子

SY-3 障がいがある子どものための療育施設の役割

心身障害児総合医療療育センター 仁宮 真紀

一般演題(口演)
第二回

一般演題(口演)
第二回

一般演題(示説)
第一回

■ワークショップ1

10月25日(日) 14:00~15:30 第1会場

新生児看護のキャリアデザイン～キャリア構築と支援体制を考える～

座長：滋田 泰子 (日本赤十字社医療センター)

WS1-1 ベテラン看護師のキャリア構築 ～新生児看護における一つの軌跡～

地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立広島市民病院 小田 玲子

一般演題(示説)
第二回

WS1-2 小児看護領域におけるキャリア構築の一例
～認定看護師キャリアパスと活動モデルVer.1と照らし合わせて～

慶應義塾大学病院 廣明 由子

WS1-3 キャリア発達段階に応じた支援

公益財団法人昭和会今給黎総合病院 古川 秀子

WS1-4 ライフサイクルに合わせたキャリア支援

独立行政法人地域医療機能推進機構 船橋中央病院 開保津貴子

■ワークショップ2

10月25日(日) 14:00~15:30 第3会場

減災の環境づくり

～赤ちゃんとその家族、私たち自身を守るための心がけ～

座長：柳本恵美子 (独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター)
野村 彩 (大垣市民病院)

WS2-1 東日本大震災経験から見えてきたこと

岩手医科大学附属病院 NICU 押田ふじ子

WS2-2 大震災を前に社会の再点検

名古屋大学減災連携研究センター 福和 伸夫

■新生児集中ケア認定看護師実践活動報告会 10月24日(土) 13:00~14:30 第1会場

指導～育ち・育てる～

座長：岡 園代 (山梨大学大学院医学工学総合教育部)

座長から：第25回日本新生児看護学会学術集会 認定看護師実践活動報告会

山梨大学大学院医学工学総合教育部 岡 園代

CN-1 PNSによる清潔ケアの実践指導

福岡大学病院 田中久美子

CN-2 新生児蘇生法における現場の課題と質向上をねらう指導

地方独立行政法人 岐阜県立多治見病院 丹羽 尚美

CN-3 指導力の研鑽～統合した能力の開発～

埼玉県立小児医療センター 杉山 美峰

■ランチョンセミナー1

10月24日(土) 11:45~12:45 第1会場

座長：廣瀬 孝子 (日本赤十字社医療センター)

LS-1 新生児看護を担う看護職員のストレスマネジメント
～ストレスチェックをしてみませんか～

文教大学人間科学部心理学科 城 佳子

共催：パナソニック株式会社

本セミナーでは、看護職の皆様向けにストレスマネジメントについてお話しします。セミナーの前半には簡単なストレスチェックをしていただき、ご自身の状態を客観的に確認していただきます。その後、ストレスによる疲れを解きほぐすヒントとなるストレスマネジメントについてお話しします。看護職の皆様が頑張り過ぎず、自分のためのリラックスタイムをもつことも大切です。医療の現場を支えるため、常に安全への大きな責任を負い、使命感をもって働く看護職の皆様に、ご自身のケアについて考える時間を提供できれば幸いです。

尚、参加者の皆様には、くじ付きチョコレート（チョコレートに含まれるカカオ・ポリフェノールにはストレス軽減の作用があるいわれています）のお土産がございます。「当たり」が出た方にはパナソニックのブースにてプレゼントをお渡しますので、お楽しみに。ブースには仕事に家事に育児に毎日忙しい女性のために開発された、自宅で簡単に疲れを癒せるマッサージ器「リフレ」シリーズの商品のお試しスペースもございますので、お気軽にお越しください。

■ランチョンセミナー2

10月24日(土) 11:45~12:45 第2会場

座長：岩崎 光子 (地方独立行政法人 宮城県立こども病院 新生児病棟)

LS-2 NICUから地域につなぐ「安心して地元の子どもになるために」

公益財団法人昭和会 今給黎総合病院 NICU 古川 秀子

共催：パラマウントベッド株式会社

日本の新生児医療におきましては、先人達のご努力と現在携わっているみなさまのお力によって、高い救命率を保ち、病床の整備も進みつつある状況です。次の大きな課題としては、生命の危機を脱した後の児の成長や家族の愛着形成、そして地域社会で児とその家族が生活をしていく上での支援、などが挙げられるかと思います。そこで本ランチョンセミナーでは、退院支援やフォローアップ外来、退院後の児に対しての訪問看護や家族も含めた地域同窓会など今給黎総合病院の取組みについて発表させていただき、NICUを卒立った児が「安心して地元の子どもになるために」どのようなことをしていったらよいかをみなさまと一緒に考える機会にしたいと考えております。

東北6県の食材を使ったお弁当をご用意してお待ちしております。ぜひ多くの方にご参加いただけますよう、お願い申し上げます。

■ランチョンセミナー3

10月25日(日) 12:00~12:50 第1会場

座長：長内佐斗子 (日本赤十字社医療センター)

LS-3 優しい光が包むあたらしい医療空間

LIGHTDESIGN INC. 東海林弘靖

共催：株式会社セントラルユニ

赤ちゃん達だけでなく、働くスタッフにとっても快適な光環境を整えることによって、高度医療の提供に貢献できると考える。

本ランチョンセミナーでは、世界でも高い評価を受けた名古屋第二赤十字病院の照明デザインの取組み事例を紹介するだけでなく、大きな改修工事を必要としない、今すぐにでも実行できそうな新しい照明のアイディアも紹介したい。

[名古屋第二赤十字病院の照明デザイン]

名古屋第二赤十字病院のNICUとGCUを含む新生児病棟改修は、「低照度・明印象環境」という照明デザインコンセプトの下、「赤ちゃん達だけでなく、面会に来られるご家族や働くスタッフにとっても優しい世界一のNICU」を目指して2013年3月に完成した。

一般に総合病院の集中治療室には精密機器が数多くあり、それらは人命に関わる機能を負うため、空間設計においては、機器の操作性・作業効率が重視され、デザインの入る余地はほとんどなかった。しかしこの改修プロジェクトでは、照明デザインによって現場が抱える課題を解決することになった。

NICUとGCUにおける光環境の要望は、新生児にとってはほの暗い方が好ましいとされる一方、単に照度の低いだけの光環境は陰鬱な雰囲気となり、高度な医療を行う環境として必ずしも良いとはいえない。そこで、スタッフにとっての明るさ感を得ながらも、新生児へは強い光が届かないアンビエント・ライティングシステムを考案した。床面の照度を360ルクスから25ルクスまで落としても、不快な暗さを感じない画期的なシステムとなっている。また、新生児の生体リズムを整える明暗のサイクルや成長段階に合わせた照度の設定も快適な環境を維持しながら展開している。

天井にゆるやかな曲線を描くコープ照明による柔らかな光と、壁面に与えられたコーニス照明によって空間に奥行き感が生まれ、実際の空間よりも広く感じる空間となった。